

【前橋版】退院調整ルールを活用状況アンケート集計結果 (事業所・地域包括支援センター)

アンケート配布数 部 アンケート回収数 部

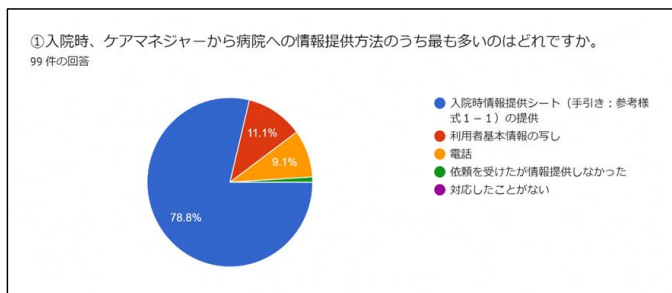
回収率

1. 退院調整ルールの活用状況

設問1 入退院時における、退院調整ルールに沿った情報提供はどのように行いますか。

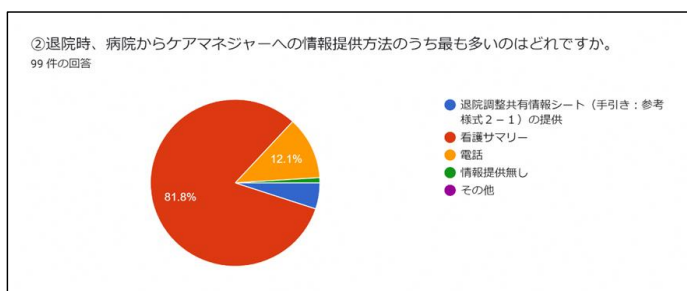
①入院時

	人数	割合 (%)
入院時情報提供シート	78	78.8%
利用者基本情報の写し	11	11.1%
電話	9	9.1%
依頼を受けたが情報提供無し	1	1.0%
対応したことがない	0	0.0%
合計	99	100%



②退院調整時

	人数	割合 (%)
退院調整共有シート	5	5.1%
看護サマリー	81	81.8%
電話	12	12.1%
情報提供無し	1	1.0%
合計	99	100%



設問2 その他、退院調整ルールの活用状況についてご意見等ありましたらお願いします。(自由記載)

1. 良い点

- (1)統一された書式があったり、入退院時の病院からの連絡が入るため、情報共有しやすい。3
- (2)病院によっては、退院前カンファレンスを開いてくれるところもある。ご家族やご本人に少し顔合わせができるので退院後の介入がスムーズにいくことがある。

2. 工夫している点

- (1)コロナ禍であり、病院のMSWと退院後のサービスを電話でのやりとりの中で検討し、家族も含め計画を立てている。3
- (2)入退院時の情報のやり取りは、1つの方法だけだと不足している情報がある為、複数の方法でやり取りしている。2

3. 改善してほしい点

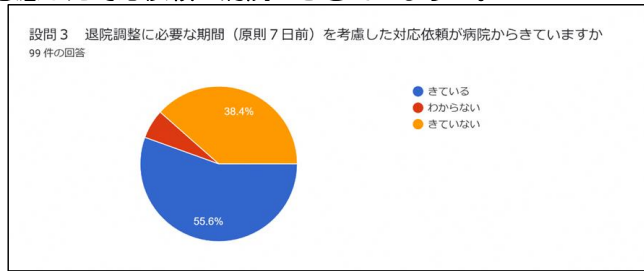
- (1)退院してからの情報では遅く退院前情報を頂けないと在宅での生活に生かせないため、退院時の情報を(退院の日時等)電話で良いので早めに知らせてほしい。3
- (2)病院内で連携が取れていなく、情報が一致していないことがある。2
- (3)入院時情報提供しても退院時の情報提供がないこともある。2
- (4)連携できる時と難しい時もある。3
- (5)入院時情報提供シート、退院調整共有情報シートともに記入欄が小さいためみづらい。6
- (6)表がエクセルの手書き仕様で入力しづらい。チェックや丸印をボタンなどで入力しやすい形式にして欲しい。

- ・病院側・ケアマネジャー側ともに、情報提供がないまたは情報提供を依頼してから返答を得るまでに時間がかかるという意見がありました。また退院日が決まり次第病院から早めの連絡が欲しいとの意見もありました。在宅へ戻られる高齢者がスムーズに在宅生活を再開できるよう、病院・ケアマネジャー間で随時連絡を取り対応していただければと思います。
- ・各種様式について、見づらい・入力しづらいというご意見が数点ありました。様式は厚労省が提示したものを使用していますが、今後検討していきたいと思っています。
- ・退院調整ルールを掲載しているホームページに一部チェック方式の情報提供用紙を掲載しているため、ご確認ください。
URL : <https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/fukushibu/chojuhokatsukea/gyomu/2/chiihoukatsukeasystem/4337.html>

2. 退院調整ルールの内容

設問3 退院調整に必要な期間（原則7日前）を考慮した対応依頼が病院からきていますか。

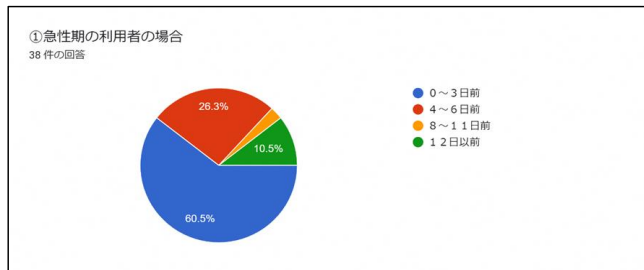
	人数	割合 (%)
きている	55	55.6%
きていない	38	38.4%
わからない	6	6.1%
合計	99	100%



依頼がきていない場合、何日前に連絡がきましたか

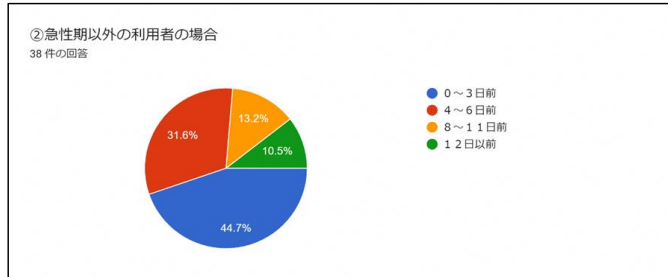
①急性期の利用者の場合

	人数	割合 (%)
0～3日前	23	60.5%
4～6日前	10	26.3%
8～11日前	1	2.6%
12日以前	4	10.5%
合計	38	100%



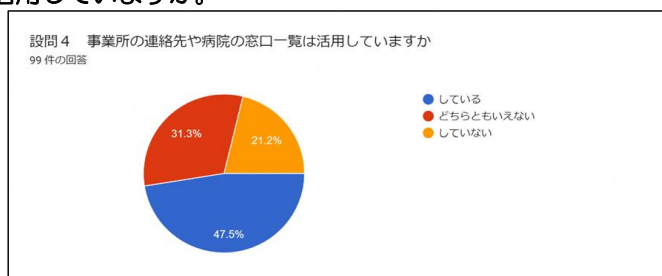
②急性期以外の利用者の場合

	人数	割合 (%)
0～3日前	17	44.7%
4～6日前	12	31.6%
8～11日前	5	13.2%
12日以前	4	10.5%
合計	38	100%



設問4 事業所の連絡先や病院の窓口等の一覧は活用していますか。

	人数	割合 (%)
している	47	47.5%
どちらともいえない	31	31.3%
していない	21	21.2%
合計	99	100%



3. コロナ禍における対応

設問5 コロナ禍での退院調整において病院との連携で困難に感じることがありましたらご記入下さい。 (自由記載)

- (1)実際に本人に会えずZOOMなど画面越しとなり、電話の情報ではイメージが違い把握が困難。9
- (2)退院前カンファレンスに参加できないため、退院して自宅に戻られるまで会えず、状況や意向が把握しにくい。情報は聞いているが対応に不安がある。21
- (3)本人に会えないまま退院して退院日からサービス利用が必要な場合があるので情報を得て必要な物をそろえて退院に合わせ訪問するが、うまくいかない事がある。退院してからサービス変更になることも多い。3
- (4)新規ご利用者の場合でもご本人に面会できず退院となることが多い。十分にアセスメントできない状態で、ケアプラン作成することは難しい。4
- (5)ご家族が面会に行けていないと本人の状況を理解できず、医師や看護師等から現状を聞かされても実感がわかない様子。介護力がどこまで必要かまた対応が可能かを図ることが難しいと感じた。自宅に帰ってから「こんなだと思わなかった」との声が聞かれた。2

- (6) 家族が面会できない為、退院前にどういう状態か、本当に今の方向性で良いのか、不安を感じているという相談が多い。不安は傾聴できるが、詳しい状態に関しては病院でないと分からないので、病院から家族に丁寧な説明が求められていると感じる。
- (7) 退院前に退院事前訪問などをリハビリの方でして下さると情報が良くわかると思う。
- (8) コロナ病床使用で早く退院させられた感がある。

- ・コロナ禍での影響で面会が行えないことにより、状況や意向が把握しにくく、対応に不安を感じている場合や、ケアプラン作成に困難さを感じている意見が多くありました。
- ・面会できないまま、自宅へ退院し家族は状況を理解できず困惑する様子もうかがえます。
- ・病院により、リハビリの動画をケアマネジャーや家族と共有したり、オンラインの面会を導入しているところもあります。また、医師の承諾を得て退院前に面会できる機会を作っている病院もありますので、各病院へ問い合わせただければと思います。

設問6 コロナ禍において、退院調整や在宅療養に係る支援者との連携について貴事業所で取り組んでいることや工夫していることなどがありましたらご記入ください。(自由記載)

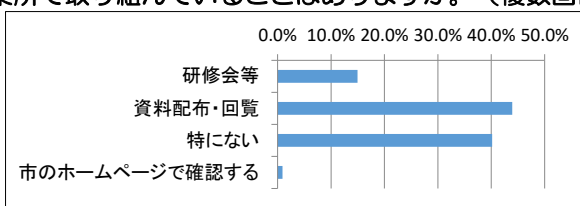
- (1) 訪問をなるべく短時間で済ませる。 7
- (2) どのような方法であれば退院前に本人の情報がもらえるか、前もって聞き取る。
- (3) 電話やメール、FAX、ショートメール ラインなどの活用をして対応。 2
- (4) 電話連絡になってしまうため、こまめに連絡を取り合い状態の確認を行う。 29
- (5) web会議の活用、家族も含めて対応し状態確認実施。 4
- (6) 自宅内の様子がわかるように写真を撮影情報提供している。
- (7) ご家族と連絡を取り、ご自宅で家族と面談している。
- (8) 医療連携室の方以外の担当者にも状況を聞き取る。 2
- (9) 退院前カンファレンスが可能かどうか聞き、できるだけ参加している。
- (10) メールや動画で確認を行っている。 3
- (11) まずは、電話連絡から、お互いに了解得た上で感染対策をして面談(担当者会議)を開催、そうでない時は紙面での照会で行っている。 2
- (12) 極力自分達が病院へ足を運び少しでも情報収集して関係する支援者と情報共有している。
- (13) 相談員さんから、退院前の連絡をいただいた時に様子を聞かせいただく。それを、各事業所に連絡している。

- ・面会が困難なため、電話やweb会議など様々なツールを活用し、こまめに連絡を取り合い対応していただいていることが分かりました。

4. 貴事業所で取り組んでいること

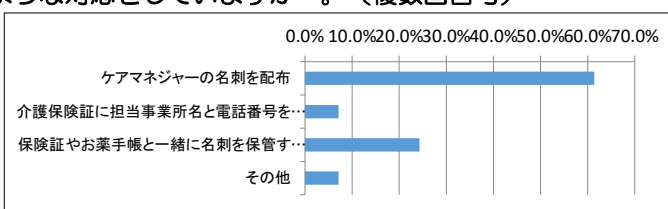
設問7 退院調整ルールの周知等について、貴事業所で取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

	人数	割合 (%)
研修会等	16	15.0%
資料配布・回覧	47	43.9%
特にない	43	40.2%
市のホームページで確認する	1	0.9%
合計	107	100%



設問8 担当ケアマネジャーの周知のため、どのような対応をしていますか。(複数回答可)

	人数	割合 (%)
ケアマネジャーの名刺を配布	86	61.4%
介護保険証に担当事業所名と電話番号を追記	10	7.1%
保険証やお薬手帳と一緒に名刺を保管するよう依頼	34	24.3%
その他	10	7.1%
合計	140	100%



<その他>

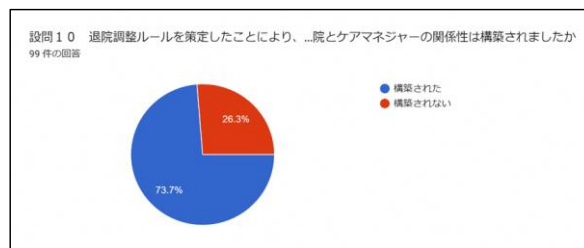
- (1) 名刺以外にハガキサイズにケアマネジャー名前と連絡先を健康保険証と一緒に保管していただく。
- (2) 大きく見やすい印刷物を配布。
- (3) 契約時に入院したら病院に見せるように氏名連絡先の入った書類を渡している。
- (4) 相談員へ電話する。
- (5) 安心セットと一緒に名刺を入れて保管し、入院等の際に担当ケアマネの事業所と名前を知らせて頂くよう伝えている。
- (6) 支給されている名刺は、裏面に名前と事業所の電話番号が大きい文字で印刷されています。
- (7) 入院をした場合、入院先の病院に担当者を伝えてもらうように依頼している。
- (8) 事業所で作成したCM連絡シートを保険証と保管するように依頼。
- (9) 契約時、入院時は医療機関に担当者名を伝えるよう依頼している。
- (10) 居宅事業所が分かるように、医療保険証と一緒に保管。

設問9 その他、退院調整ルール以外で在宅療養生活へ円滑に移行できるよう、工夫していることがあればご記入ください。（自由記載）

- (1)退院前カンファレンスへの参加希望を病院に伝える。
 - (2)退院決定前からMSWと適宜連携。
 - (3)各事業所の担当者と電話、メールでの相談。退院当日にコロナ禍であってもできる限り担当者会議の開催。
 - (4)家屋調査に同席する。3
 - (5)相談員、ご家族、各専門職との電話で密に情報共有を行っています。9
 - (6)病院から連絡がしばらく来ないようであれば、こちらから連絡を入れ、本人の状態を確認している。
 - (7)病院での退院カンファレンスの際に参加可能なサービス事業所にも参加していただく。
 - (8)本人家族、相談員より、初めはサービスに必要な情報を頂き必要以上に詮索しない。
本人家族とは風通しの良い、言いたいことが言える関係でいたいことを伝え、信頼関係を築いていくようにしている。
 - (9)同法人内であれば、訪問診療や訪問看護等と連携を図り、情報共有している。
 - (10)独自の連携連絡票を作成して使用。
 - (11)独居の人の場合、家族が来られる日（退院日）にできるだけ必要なサービス提案、契約などを行ってもらう。
- ・コロナ禍であっても、担当者会議に参加したり、参加したい希望を病院へ伝えるという意見が何点ありました。
 - ・また、家屋調査に同席し状況確認するという意見も何点ありました。本人の状況について情報共有のため、電話や独自の連携連絡票などを用いて状況共有をしていただいています。

設問10 退院調整ルールを策定したことにより、病院とケアマネジャーの関係性は構築されましたか。

	人数	割合(%)
構築された	73	73.7%
構築されない	26	26.3%
合計	99	100%



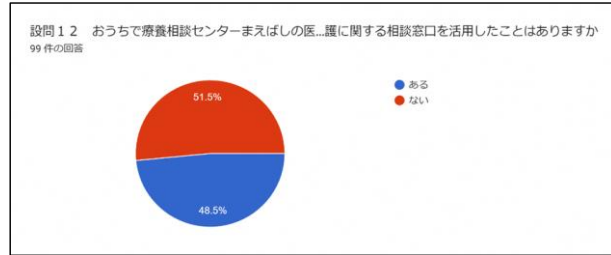
設問11 病院とケアマネジャーの連携が深化するための課題やご意見等がありましたらご記入ください。（自由記載）

- (1)連携室の退院調整担当者とのコミュニケーションをよく取る。2
 - (2)病院スタッフのケアマネジャーの仕事の理解、退院調整ルールについて理解を深めてもらいたい。
互いの業務内容の理解を深める事が必要。5
 - (3)できるだけ、病院主催の研修などに顔を出させていただいて顔がみられる関係になりたいと考えています。
情報交換会や勉強会などを開催し顔を合わせる機会を作っていただければと思います。6
 - (4)市内だけではなく、近隣の市町村にもある程度共通したルールの策定を取り組んでほしい
 - (5)ケアマネジャーからの情報提供のみで関りがなく退院をしてくるケースもある。またSWがつかない場合は
病棟看護師が担当となるが、連絡や情報等ない場合が多い。2
 - (6)土日祝日等は相談員が不在な為、情報提供を得るのが難しかったり相談が遅れてしまう。
 - (7)病院によるが、SWが本人の意向を確認していない事があり、退院前に準備をしても退院後にサービスを使わないと
言ったケースも数件あった。本人の意向をきちんと確認してほしい。2
 - (8)退院後介護保険利用意向があるなら、早めの介護認定申請をお願いしたい。
 - (9)入院時・退院時に連絡がないことがある。忙しいと思うが連絡が欲しい。まめに電話することが大切かなと思う。6
 - (10)相談員と連携が図れていると感じても、医師が出てくると全く違う方向性になってしまうことがある。
 - (11)退院して終了ではなく1~2週間外来受診まではご本人の様子を病院でフォローして、必要があれば包括や居宅に
依頼するようにしても良いのではないかな。
 - (12)医療相談員が中間に入ってくれることで対応がスムーズになりありがたい。
 - (13)殆どの病院は親身になって一緒に検討してくれているので、大変助かっている。
- ・顔のみえる関係づくりのため、おうちで療養相談センターまえばし・長寿包括ケア課地域包括ケア推進係にて、今年度病院とケアマネジャーさんとの情報交換会開催の検討をしています。日程等決定しましたら、改めて周知いたしますので、ぜひご参加ください。

6. その他

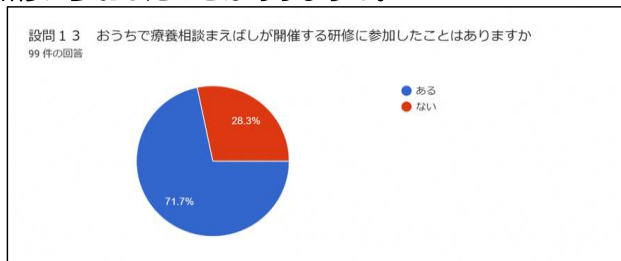
設問12 おうちで療養相談センターまえばしの医療と介護に関する相談窓口を活用したことはありますか。

	人数	割合 (%)
ある	48	48.5%
ない	51	51.5%
合計	99	100%



設問13 おうちで療養相談まえばしが開催する研修に参加したことはありますか。

	人数	割合 (%)
ある	71	71.7%
ない	28	28.3%
合計	99	100%



設問14 在宅医療・介護連携推進事業において、おうちで療養相談センターまえばしにご要望等がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

- (1) いつも興味深い研修を開催いただきありがとうございます。
- (2) 研修になかなか参加できず申し訳ありません。常に的確なアドバイスを頂ける存在として頼りにさせて頂いています。
- (3) 先日 在宅医のことで相談しましたらとても親切に相談 回答していただき、ありがたく、こころ強かったです。相談しやすいのがいいと思います。
- (4) ケアマネがどのような相談をしても良いのか、ケアマネ用のリーフレットがほしい。
- (5) 窓口を一般にも広く周知してほしい。
- (6) 先日の研修がとても解りやすかったです。
- (7) 入院時情報連携シートについて、病院、ケアマネの両者で見直しをしてもよいと思う。
- (8) 困ったときに相談に乗っていただき助かっています。多岐にわたる研修を企画していただき勉強になっています。
- (9) なかなか研修に参加できませんが、内容によっては参加していきたいと思います。
- (10) 前橋市医師会に於ける研修会でお会いしたいです。
- (11) コロナ禍におけるケアマネとしての具体的感染対策の講義希望。
- (12) 今後も勉強会の開催をオンラインでも続けてほしい。
- (13) 現在の活動内容やケアマネが聞いてよいこと等がわかると助かります。
- (14) 今後も色々な研修に参加させて頂きたいと思う。
- (15) 研修開催などありがたいと思う。